━━２０１４．７．２ Ｖｏｌ．８６━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━
■□■
□■□　　事故防止メルマガ「Ｔｈｉｎｋ」
■□■　　【発行】シンク出版株式会社　http://www.think-sp.com/
━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━

_/_/ＩＮＤＥＸ_/
１・７月後半の安全管理ごよみ
２・危機管理意識を高めよう～現場を見に行く習慣をつけよう
３・交通事故の裁判事例～ＥＴＣ通過時の追突事故の責任
４・今日の朝礼話題～冠水した道路に進入しない
５・【新発売】小冊子「健康管理と安全運転」
６・【好評発売中】参考書「貨物運送事業の危機管理術」
_/

――――――――――――――――――――――――――――――――――――
★７月後半の安全管理ごよみ
――――――――――――――――――――――――――――――――――――

◆１日（火）～３１日（木）
―夏季労働災害防止強調運動（トラック）
―車内事故防止キャンペーン（バス）
―熱中症予防強化月間
◆１６日（木）
―国土交通Ｄａｙ
◆２１日（月）
―海の日
◆２３日（水）
―大暑

※詳しくはシンク出版のＷＥＢサイト「今月の運転管理」で紹介しています。

【今月の運転管理↓】
http://www.think-sp.com/2014/06/11/kongetsu-untenkanri14-7/

――――――――――――――――――――――――――――――――――――
■危機管理意識を高めよう
――――――――――――――――――――――――――――――――――――

「現場を見に行く習慣をつけよう」

　運転者が最初は安全ルールを守ろうとしていても、日常的に慣れてくると「こんな細かいことは気にしなくても大丈夫」という油断が生じます。そこに危険が潜んでいるのですから、管理者がときどき「客観的な目」になって指摘することが大切です。

【続きを読む↓】
http://www.think-sp.com/2014/07/01/kikikanri-genba-kakunin/

――――――――――――――――――――――――――――――――――――
■交通事故の裁判事例
――――――――――――――――――――――――――――――――――――

　今回は、ＥＴＣレーンで急減速した車に後続車が追突した事故で、急停車した車の過失を認めなかった事例を取り上げます。

『ＥＴＣレーン通過時に前車に追突した事故で過失相殺を認めず』

【事故の状況】
　平成１８年６月７日午後３時ごろ、Ａは大型トラックを運転して東名高速道路を走行していました。やがて、愛知県の豊橋本線料金所に差しかかり、前を走行しているＢ（４トンロング車）に続いてＥＴＣレーンを通過しようとしたところ、ゲートのバーが上がらなかったためにＢ車が急減速しました。

　Ａは、あわてて急ブレーキを踏みましたが間に合わずにＢ車に追突しました。この事故により、Ｂ車は運行不能となり、車の修理代、積荷の損害、休車損害などを求めて、Ａに対して損害賠償を請求しました。

　これに対してＡは、Ｂが急ブレーキをかけたために追突したもので、Ｂにも１０％の過失があると主張しましたが、裁判所は次のように述べて、Ｂの過失を認めませんでした。

【裁判所の判断】
「Ａは、事故はＢのＥＴＣカードの書き込みエラーでゲートのバーが上がらなかったことにより、Ｂが急ブレーキをかけた影響によるものと主張し、Ｂが時速４２キロでＥＴＣ車線に進入し、Ａも同速度で進行したと主張する」

「しかしながら、東名高速道路におけるＥＴＣシステム利用規程によれば、
『ＥＴＣ車線では時速２０キロ以下で安全確保できる速度で進入すること』
『前車が停車することがあるので必要な車間距離を保持すること』などが求められている」

「Ａはこれらを遵守しておらず、Ｂに速度超過があったとしても、ＡはＢの停止まで想定してＥＴＣ車線への進入、通行をしなければならず、必要な車間距離を取ることが求められているのである」

「ＥＴＣバーが上がらなかった原因については、必ずしも判然としないものの、仮にＢのＥＴＣカードの書き込みエラーがあって急ブレーキをかけたとしても、Ｂの通行状況を斟酌（※）するのは相当ではない」

※斟酌（しんしゃく）＝相手の事情・心情などをくみとること。

「よって、本件においてＢの過失を問うことはできない」

（東京地裁　平成２１年７月１４日判決）

■今日の朝礼話題

『冠水した道路に進入しない』

　日本列島は梅雨に入り、各地で土砂災害や道路浸水などの被害が出ています。短時間に集中した激しい雨が降り、道路が冠水して走行している車が途中で動けなくなる被害が出ています。

【続きを読む↓】
http://www.think-sp.com/2014/07/02/tw-kansui-douro/

　シンク出版ＷＥＢサイトでは、朝礼時や会報作成時に参考にしていただける「今日の朝礼話題」を毎日（弊社営業日）更新しています。
（情報のご利用につきましては、以下「当サイトのご利用について」をご確認

ください↓）
http://www.think-sp.com/about/

■【新発売】小冊子「健康管理と安全運転」

※仕様　Ｂ５判／１６ページ／カラー刷
※価格　５冊セット価格７００円+税（送料実費）
※監修　垰田和史（滋賀医科大学准教授）

　運転者が健康であることは、安全運転の大前提です。本冊子は高血圧や、薬の副作用などによる体調不良事故を６パターンとりあげ、垰田和史滋賀医科大学准教授の監修のもと、体調不良事故を防ぐ自己管理ポイントを紹介しています。

　また巻末には、運転における健康管理リスクがないかを「ハイ・イイエ」で回答する、自己チェック表を設けています。各事例はわかりやすいマンガで紹介しており、どなたでも健康管理の重要性をご理解いただけるようになっています。

【商品詳細はこちら↓】
http://goo.gl/XjOM5m

■【好評発売中】参考書「貨物運送事業の危機管理術」

※仕様　Ａ４判／５６ページ／カラー刷
※価格　１４００円+税（送料実費）

　「事例・判例からみる貨物運送事業の危機管理術」は、厳しい刑事処分や行政処分を受けた事例を中心に、貨物運送事業所の危機管理のポイントをイラストと図解を中心にして解説した、経営者や管理者向けのリスクマネジメント参考書です。

【商品詳細はこちら↓】
http://goo.gl/U5rRQY

【事故防止メルマガ「Ｔｈｉｎｋ」のバックナンバーはこちら↓】
http://goo.gl/5G5iL

　本メールマガジンは、名刺交換をさせていただいた方々にも送信させていただいております。今後、メールマガジンの購読を希望されない場合は、お手数ですが下記アドレスまでご連絡をいただきますようお願いいたします。

（平成２６年７月２日送信）

※本メールは「ＭＳゴシック」などの等幅フォントで最適に表示されます。

■□――――――――――――――――――――――――――――□■
～人と車の安全な移動をデザインする～
シンク出版株式会社

大阪市北区天満４－５－３日本プロパティビル９０１
ＴＥＬ　０６－６８０９－１９８９／ＦＡＸ　０６－６８０９－１９８４
Ｅメール　mail@think-sp.com
ＵＲＬ　http://www.think-sp.com/
■□━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━□■